

会議要録

会議の名称	令和7年度 第1回和光市文化財保護委員会
日 時	令和7年8月18日（月） 14：00～15：35
場 所	和光市役所 6階 602会議室
出 席 者 ※敬称略	【文化財保護委員】委員8名が出席 田中明、田中茂、森朋久、鈴木敏弘、白井和広、並木實、大平秀和、浅野里香 【事務局】 [教育委員会] 石川教育長、横山部長 [生涯学習課] 細野課長、山本課長補佐兼文化財保護担当統括主査 文化財保護担当 中岡主査、相田主任、大澤主事
傍 聴 者	0名

1 開会

2 委員委嘱式

石川教育長から各委員に委嘱書を交付。

3 教育長あいさつ

本日はご多用の中にもかかわらず、和光市文化財保護委員会にお集まりいただき誠にありがとうございます。

先ほど委嘱式を行いました但新たな方を委員として迎え、委員の皆さまにおかれましては、二年間よろしく願いいたします。

さて、昨年度、和光市教育委員会では、国史跡午王山遺跡の発掘調査、市内文化財の新規の市指定、発掘現場公開や文化財報告会などを実施してまいりました。本日は、主にこのような令和6年度の事業報告及び、令和7年度の事業計画についてご審議いただきたいと考えております。

文化財保護行政の役割は、重要な文化財を保護し、後世に長く伝えることだけでなく、それを広く周知・活用することで市民の郷土への愛着を育み、市域の活性化を促進することにもあります。

文化財保護委員の皆さまにおかれましては、どうぞ忌憚なくご意見をいただきますようお願いいたします。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

4 自己紹介

- ・委員自己紹介
- ・事務局職員自己紹介

5 事務局より説明・報告

- 1 市民参加条例第12条第4項の規定による会議公開及び要点記録による会議録の公開について説明。
- 2 送付・配布資料について説明。
- 3 文化財保護委員・生涯学習課文化財保護担当の役割について説明。

6 議題（協議・報告）

（1）委員長・副委員長の選出について

議題（1）委員長・副委員長の選出について資料に基づき説明。

委員長：田中明委員

副委員長：鈴木敏弘委員 に決定。

○委員長

この度委員長として選出いただいた、田中です。鈴木副委員長とともに何卒よろしく願いいたします。

さて、今回の会議は議題が6つある。1つ目の委員長・副委員長の選出がただいま終了したので、次の議題に移る。

（2）委員などの選出について

議題（2）委員などの選出について資料に基づき説明。

ア 和光市教育振興基本計画策定委員会委員の選出について
田中明委員長 に決定。

イ 和光市人権教育推進協議会理事の選出について
浅野里香委員 に決定。

★田中委員長所用により退出→以降は鈴木副委員長が代理進行。

（3）令和7年度和光市教育行政アクションプランについて

議題（3）令和7年度和光市教育行政アクションプランについて資料に基づき説明。

○鈴木副委員長

事務局からの説明に対して質問、意見はあるか。

○鈴木副委員長

民家園にて、保存庫にある資料を活用するということで展示などを行っているとのことだが、やはり、ゆくゆくは常設の展示施設をもつことを検討すべきだと考える。それに伴う指摘として、生涯学習課の職員に専門家や学芸員が足りていない。現在の体制では一人一人の負担も大きく、今後施設を管理するとなるとその負担は今の比ではないと考えられる。展示に伴う破損や盗難を考慮すると、専用の施設で知識・経験のある職員によって責任をもって管理されることが求められる。

○鈴木副委員長

その他ご意見なければ次の議題に進む。

(4) 令和6年度事業報告について

議題（4）令和6年度事業報告について資料に基づき説明。

○鈴木副委員長

事務局からの説明に対して質問、意見はあるか。

○鈴木副委員長

ささら獅子舞は年に何回ほど披露の場があるのか。

○白井委員

年に一度、下新倉氷川八幡神社の例大祭の際に舞を奉納している。

その他に、白子小学校に2、3回の講座をしている。

○鈴木副委員長

県の企画にて、高校生のクラブ活動においてPR動画を制作されたそうだが、市でもつくられてはいかがか。神社のお祭りにおいて、このような獅子舞が残っていることはとても貴重である。

○白井委員

近隣では獅子舞の保存会も珍しい存在となってしまうなかで県内でも最多といわれるような約60名という人数で精力的に活動している。その中で、6個の太鼓のうち4個が破損しているので、修理費補助の検討などいただけると幸いである。今年も10月19日に下新倉氷川八幡神社にて奉納の舞を行うので、ぜひ見に来ていただければと思う。

○鈴木副委員長

発掘の分野でいうと、午王山遺跡の多重環濠の調査を行ったということで、濠が重なっているという点が国指定の有力な根拠であり、また、国指定史跡となり調査などの現状変更の制限が厳しくなっているなかで重要な調査であったと思う。

○鈴木副委員長

その他ご意見などはあるか。

→委員一同：特になし

(5) 令和7年度事業計画について

議題(5) 令和7年度事業計画について資料に基づき説明。

○鈴木副委員長

事務局からの説明に対して質問、意見はあるか。

○田中委員

民家園について、来年20周年を迎えるにあたり経年劣化が多くみられるため、今年度予定されている茅葺き屋根の修繕に期待している。

○鈴木副委員長

民家園を管理運営している愛好会というのは、ボランティアということか。

○田中委員

市民を中心とした非営利の活動である。

○白井委員

ささら獅子舞に関しても、修繕を依頼したいものは多いが、現在、道具の修繕を頼めるところが浅草にしかなく、また一つ一つの修繕費が高額であるため、市民の方々にご理解いただきお力添えいただきたければ幸いと思っている。

○森委員

デジタルアーカイブ「れきたま」について、収蔵資料データベースがあるが、民俗資料がほとんどで、考古資料が見つけられない。民俗資料についても、私自身が確認させていただいたのが10年ほど前となっていて、市民にとってはどうなっているのかわからない状態になっている。

収蔵資料の記録・管理を徹底し、公開できるように進めていただきたい。

○鈴木副委員長

いざ公開するというときに、保存活用は重要な課題である。ほとんどの収蔵品が倉庫に眠っている現状であるが、市内には国史跡があり、人口も10万人近い自治体で常設展示ができるような博物館等がないのは議論の余地がある。個人的に和光高校跡地などの活用に最適ではないかと考えるが、どのような話があるのか。

○事務局

県から和光高校跡地について市としての利活用に関する意向の確認がきているところで、庁内にてどのように活用していくかを検討している段階である。

○鈴木副委員長

午王山遺跡との立地関係的にも最適でないかと感じられる。
教育委員会の方でもそのような意識をもっておいいただきたい。

○大平委員

昨年佐和屋の取り壊しがあったが、佐和屋以外にも、市内には貴重な歴史的建造物がある。調査の再開を検討してもいいと感じている。市民が誇りを持てる文化財があるということを広めていきたい。

○森委員

不特定多数の人々が多目的な利用をできるように感じる。今後も積極的に情報発信していくことが望ましい。一方で、若い世代に向けて、スマートフォンで手軽に使いやすいアプリ化なども検討して良いか考える。

文化財という古いものを扱うが、一方で公開に関しては新しい手法など追っていく必要がある。これは閲覧数にも大きな影響がある話ではないかと思う。

○鈴木副委員長

その他ご意見などはあるか。

→委員一同：特になし

(6) その他

○鈴木副委員長

「議題（6）その他」について、事務局より説明願いたい。

○事務局

・白子熊野神社富士塚の崖面について

崖面に根がむき出しの大木があり、崖崩れの恐れがある。

所有者から剪定及び、安全対策措置を行うにあたり市補助の要望があり進めている段階。

・市場峡・市場上遺跡 発掘について

調査期間：令和7年6月4日～7月15日

分譲住宅建設に伴う調査。

奈良時代以降の住居1軒、土坑数基が出土。

・文化財保護協会 鈴木副委員長表彰について

和光市における文化財保護に関する功績が、埼玉県の文化財保護行政の進展にも大きな貢献になっているということから文化財功労者として表彰されたことを報告。

・文化財講習会 職員の講師出演と委員のご参加について

生涯学習課中岡が午王山遺跡をテーマに講師として出演し、文化財保護

委員からは鈴木副委員長と浅野委員にご参加いただいた。

文化財講習会に出席された委員の方からご意見などがあればお受けしたい。

○浅野委員

文化財は実物を見ることがとても重要だと考える。今回テーマの午王山遺跡に関しては、自分自身の経験として、和光市に住み始めたころに現地に行き、史跡公園のように整備されていなかったためどのような遺跡なのかわからなかった、ということがある。自分が代表を務める団体の虫観察企画を通して写真を見るのと実際に見て学ぶのでは異なるものがあると感じる。小さかったり既存の施設だったりしても、今ある文化財の存在や貴重さを次世代に伝えていく場を設けていくこと、ファンを増やしていけるような形を残していくことが大事ではないかと、講座を通じて改めて感じた。

○鈴木副委員長

文化財保護委員の総意として、市には常設展示施設の検討をいただきたいと思う。その他、委員からご意見やご報告はあるか。

○並木委員

過去に調査を行った壺鑑寺の五輪塔等石造物について、来月書籍を出版する予定である。和光市域の歴史を考えるものとなっているため、興味のある方はご覧いただければと思う。

○鈴木副委員長

貴重な内容を共有いただきありがたい。他に協議がない場合は、これで協議課題として挙げられた事項の審議は終了とし、事務局に進行をお返しする。

○事務局

今後のスケジュールに関して、次回の会議 11 月の開催予定となる。日程決まり次第お知らせする。

7 閉会

以上。